

2025 年 10 月 6 日

株式会社 A C S L

A C S L、米国子会社の ACSL, Inc.が American Tower Corporation と 戦略的パートナーシップに関する覚書（MOU）を締結

- A C S L は、American Tower Corporation との間で、戦略的パートナーシップに関する覚書（MOU）を締結し、米国市場における販売及び市場開拓をさらに加速
- 米国の最大手電波塔運営事業者である American Tower Corporation と重要インフラ産業におけるドローンのさらなる導入と活用を目指す

株式会社 A C S L（本社：東京都江戸川区、代表取締役 Co-CEO：早川研介・代表取締役 Co-CEO：寺山昇志、以下、A C S L）の米国子会社である ACSL, Inc.は、マサチューセッツ州に拠点を置く American Tower Corporation（以下、ATC）との間で、現地時間 2025 年 10 月 3 日に、重要インフラ産業におけるドローン技術の導入と活用に向けた戦略的パートナーシップに関する覚書（MOU）を締結しましたので、お知らせいたします。

■MOU 締結の理由及び内容

世界のドローン市場では経済安全保障や環境配慮に関する政策が加速しております。米国では National Defense Authorization Act（NDAA）によって、ロシア製や中国製のドローンの政府調達が禁止されており、また、中国製ドローンメーカーの DJI 社は、2022 年 10 月より米国国防総省の「中国軍事関連企業」に指定されております。このような市場環境の中で、A C S L は経済安全保障、企業向け対応及び用途特化型をキーワードとしたポジショニング形成が可能と考えております。こうした背景から、当社は、セキュアで多用途かつ高性能な小型空撮ドローンの需要の高まりに対応するため、2023 年 1 月にカリフォルニア州に米国子会社である ACSL, Inc.を設立し、2024 年 1 月より米国において小型空撮機体「SOTEN（蒼天）」を本格的に販売開始いたしました。2024 年 10 月には販売代理店である Exertis Almo から SOTEN500 機の注文を獲得しており※、さらにスマートコントローラー「TAITEN」や SOTEN 用高画素赤外線カメラ「SAMO」等の米国市場の顧客ニーズを踏まえた製品開発に取り組むことで、着実に市場におけるプレゼンスを高めております。

米国の最大手電波塔運営事業者である ATC は、米国内で 42,000 件以上、米国含む世界 22 カ国に約 15 万件の通信インフラ施設を保有しており、グローバルな通信ネットワークの構築・運営において重要な役割を担っています。本パートナーシップのもと、ACSL は通信インフラ施設の点検用途に向けて、ATC に対し自社製ドローン製品および関連オプション品の提供・販売を行うとともに、製品開発に関する情報提供を実施します。ATC はこれら製品の試験導入を通じて、実運用に基づくフィードバックを ACSL に提供し、製品の改良に貢献します。さらに、両社は製品テストやマーケティング活動を共同で推進し、ACSL 製品の市場展開と普及促進に取り組んでまいります。

ACSL, Inc.と ATC は、お互いの強みと専門性を活かし、米国の重要インフラ産業におけるドローン活用のさらなる拡大を目指してまいります。

■ATC について

- ・ 名称：American Tower Corporation
- ・ 所在地：116 Huntington Avenue, Boston, Massachusetts 02116
- ・ 代表者：President and Chief Executive Officer Steven O. Vondran
- ・ 事業内容：無線通信インフラの開発、所有、運営
- ・ 設立年月日：1995 年

■ACSL, Inc.について

- ・ 名称：ACSL, Inc.
- ・ 所在地：710 Lakeway Drive, Suite 200, Sunnyvale, CA 94085
- ・ 代表者：President Cynthia Huang
- ・ 事業内容：A C S L の産業用ドローンの米国市場での販売等
- ・ 株主：株式会社 A C S L 100%
- ・ WEB サイト：<https://acsl-usa.com/>

※1 [Almo Corporation との販売代理店契約の締結及び本契約に基づく大型案件の受注に関するお知らせ](#)

【株式会社 A C S L について】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社 A C S L 広報担当 (Tel：03-6456-0931 Email：pr@acsl.co.jp)

以 上